

交通事故防止対策優良事業場表彰を受賞して

東九州自動車道 宇佐工事（大分県宇佐市大字木内～大字山本区間）

大成建設株式会社 九州支店
東九州自動車道 宇佐工事作業所
現場代理人 西 元 幸

1. はじめに

この度は、社団法人日本建設業連合会安全対策本部安全委員会より、荣誉ある交通事故防止対策優良事業場の表彰を賜り、誠にありがとうございました。これもひとえに安全委員会交通対策部会をはじめ、発注者である西日本高速道路株式会社九州支社ならびに関係各位のご支援、ご指導の賜物と厚く御礼申し上げます。

2. 工事概要および周辺環境

「東九州自動車道」は、福岡県北九州市を起点として、大分・宮崎・鹿児島各県を結び、鹿児島市に至る延長 436km の高速道路です。このうち椎田南～宇佐間 28.3km は、既に供用中の福岡県側一般有料道路椎田道路と大分県側一般有料道路宇佐別府道路に直結し、並行する一般国道 10 号線等と一体的に機能することにより、地域間交通の円滑化に寄与し北九州市内及び大分市内を結ぶ主要アクセスルートとなります。



当社担当する工事は、大分県宇佐市木内～山本区間の延長約 2,5km の下り車線新設工事で、現在供用中の宇佐別府道路を宇佐インターチェンジ部

において切り替えながら、総運搬土量約 190 万 m³ の捨土掘削工事及び橋脚 10 基・橋台 1 基を構築するものです。

捨土掘削での運搬土量約 190 万 m³ は、土捨て場までの平均運搬距離が 17km と長距離運搬であり、国道・市道・広域農道や民家が隣接した生活道路を走行することから、交通災害防止対策ならびに周辺地域に配慮した運行が常時求められます。

なお、平成 26 年 5 月末までの 15 ヶ月で、約 100 万 m³ の掘削土を 120 台/日のダンプトラックにより、搬出する予定です。



工事進捗状況

3. 交通事故防止対策

(1) 安全運行管理

運行管理として、ダンプトラックにGPS端末器を配備し、事務所のモニターの地図上で現在位置や速度をリアルタイムで確認しています。特に民家に隣接した区域には独自に速度規制を定め、

ダンプトラックのGPSにより速度規制区域であることを自動音声でオペレータに知らせ、注意喚起を行っています。また主要個所では毎日、元請職員と職長（安全衛生責任者）とで手分けして立哨すると共に、スピードガンによる走行速度のチェックによる現地指導も実施しています。



立哨指導とスピードガンによる速度チェック

(2) 新規入場運転手に対する安全運転指導

新規入場したダンプトラック運転手には、元請職員又は職長（安全衛生責任者）が、助手席に同乗して、ハザードマップに基づいた運行経路を走行し、実地の安全教育を行っています。

(3) ブレーキテストの実施

運搬距離が長距離で上り下りが多い経路を走行することから、ブレーキの点検には特に注意を払っています。新規入場車両は元請が指定した整備工場ではブレーキの点検を実施させ、現場の傾斜部にブレーキテスト場を設けブレーキの作動状態を確認させています。



ブレーキテスト場所での確認

(4) 運転手の健康管理・体調管理

毎日の入場時に、運転手に対しアルコールチェッカーによるアルコールチェックを行うと共に健康状態を確認し、原則毎週月曜日に血圧測定を実施させ、特に65歳以上の高齢者は毎日血圧測定させて、健康・体調の確認管理を行っています。

(5) 過積載防止の施策

土取り場では積込重機のオペレータに対し、積込回数や荷姿（落土防止）の教育指導を行い、場外搬出前に責任者立会の下にトラックスケールによる、全車の積荷重量を自動計量し、過積載時に赤色回転灯が点灯した場合には、積荷の重量を低減させ、再度計量後に搬出しています。



トラックスケールによる計量

(6) 地域環境への配慮

タイヤに付いた泥を場外に出さないために、トラックスケール場の前段に、自動水噴射によるタイヤ洗浄設備を設置し、タイヤの泥を洗浄し後部の排土板やバンパーに付着した泥を、専属作業員が竹ぼうきやハイウオシャーで除去しています。使用道路では、散水車で定期散水による粉じん対策を実施して、地域環境への配慮に努めています。



タイヤ洗浄設備

4.おわりに

今後も全工期無災害を達成するとの強い意識を持ち、周辺地域に配慮した施工を行って参ります。

今後とも、日本建設業連合会公衆災害対策委員会をはじめ関係者の皆様方には一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます

〔 2013年2月27日 優良事業場表彰式
日建連安全委員長表彰現場 〕